

有限会社ファン工業

〒870-0313
大分市大字屋山300番地
(TOTO構内)
TEL.097-592-4100



代表取締役 野崎 栄司 さん

障がい者雇用に関する講演会や講師の依頼を受けることも多い。企業と、障がい者、保護者、地域の関係機関の想いを“つなぐ”ために奔走中。

スローガンを掲げ、様々な活動に尽力していることでも知られています。

特別支援学校の生徒に感じた大きな可能性

2018年頃から、障がい者雇用により力を入れるようになった野崎さん。それは特別支援学校を訪問したことがきっかけでした。「技能発表会(現…ワーキングフェア)を見学した際、生徒達が目を輝かせて「働きたい」とアピールしてきたんです。私たちはこういう作業ができます、どうですか?と。障がい者という点、どうしても重度の方をイメージして意思の疎通ができないんじゃないか、暴れたらどうしよう?と不安になる方が多いと思いますが、就労を目指すような子は、健全者と遜色ないスキルを持っている場

合も少なくありません。あいさつ等の礼儀もきちんとしています。障がいに合わせて配慮さえ行えば、十分に力になってくれると感じました。就労意欲の高い生徒達に大きな可能性を感じ、支援学校の実習を受け入れるようになった野崎さん。そこから、障がい者雇用におけるマッチングの重要性、本人の意思を尊重することの大切さ等、多くの気づきを得たと語ります。「障がいの特性や本人の性格、希望を考慮して向いている仕事、向いていない仕事を見極める必要があります。そこがマッチしていなければ就労しても長くは続きません。そのため、支援学校や、なかぼつ(P9参照)といった地域の関係機関と密に連携し、まずは仕事内容を知ってもらうことが重要だと感じています」。当然、就職後もマッチングは必要不可



九州初のもにす認定企業

ファン工業はTOTOアクアテクノ株式会社の協力企業として、主に水栓金具の部品管理や組立・検査、物流業務を行っています。創業当初から積極的に障がい者雇用に取り組んでおり、2020年、九州で初めて、障がい者雇用に関する優良な中小事業主と与えられる「もにす認定」を取得。2021年には豊の国雇用促進フェスタで「障がい者雇用優良事業所理事長努力賞」を受賞、就労する江藤さん(上の写真・右から2番目)も「優良勤労障がい者」の表彰を受ける等、高く評価され、大分県の障がい者雇用を語る上で欠かせない企業です。代表取締役の野崎さんは「障がい者雇用」という言葉がなくなる社会へという

欠です。ファン工業では、実習や、普段の様子、何気ない会話等から判断し、個々の適正に合わせた業務を割り当てています(下図参照)。

トップダウンで、現場理解を醸成

現場の理解を得るにはまず、トップが率先して動くことが大切だといえます。「不安を払拭するために相談窓口を設けたり、障がいについてきちんと説明できるように、資格を取得したり、障がい者を迎え入れる体制づくりか

ら始めました。トップが障がい者雇用に対してきちんとやっていますよという姿勢を見せないうまま、いきなり受け入れる」といっても反発を招くだけです。今は、常務が相談窓口を担当し、障がい者のフォローだけでなく、現場スタッフとの橋渡しの役割も行っていきます。現場の和やかな雰囲気を見れば、トップの思いがしっかりと伝わっていることが分かります。



▲常務執行役員 川内野 英彦さん

必要なのは配慮とコミュニケーション

ファン工業には現在、精神、知的、身体に障がいのある方が就労しています。「特に、精神障がい、知的障がいの方は口で伝えるのが苦手なので普段の様子を観察し、気になることがあれば交換ノート等を活用してコミュニケーションを取るようになっています」そう話すのは現場を取りまとめる常務の川内野さん。



▲数えやすいよう、基盤の目ようになったキット箱。他にも、類似部品を覚えられない障がい者のために二次元バーコードを活用する等、様々な配慮を行っています。

工場内には障がいを持つ方が働きやすいよう、スタッフみんなが考えたという様々な配慮も目につきます。「特別なルールは設けていないし、特別扱いも必要ない」といいますが、少しの配慮と思いやりの心が、障がい者はもちろん、健全者にとっても働きやすい職場環境を作っています。

障がい者雇用は法的義務であり、法定雇用率を達成していない事業主には納付金の納付が必要となる場合があります。社会的責任を果たし、貴重な人材を確保するために一歩踏み出すことで、企業の、そして地域の未来が大きく広がります。

1人1人の特性に合わせた業務



精神障がい
プラモデルの組み立てが好きということから、部品組立を担当。3年目を迎えてミスも減り、「他の人に追いつきたい」と意欲を見せている。



知的障がい
スマホ操作の上手さから、端末を操作するピッキングを担当。乗り物が好きなので、重いものを運ぶ際の電動貨車の使用も楽しんでいる。



身体障がい
部品組立を担当。足に障がいがあるため、作業台の高さの調整、使用工具の吊り下げ方式の導入等、様々な工夫している。

もにす認定

障がい者雇用に関する優良な中小事業主を認定する制度

障がい者の雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度です。認定企業となることで、「厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークによる周知広報の対象となる」「日本政策金融公庫の低利融資対象となる」等、様々なメリットがあります。

